



令和3年6月28日

各報道機関担当記者 殿

環境循環型社会実現のための新産学協働研究拠点の 安全祈願祭・共同会見について

このたび、国立大学法人金沢大学と株式会社ダイセル（本社：大阪市北区、代表取締役社長 小河義美、以下ダイセル）は、天然資源由来のセルロースを基盤としたオープンイノベーションにより新バイオマスプロダクトツリーを実現させるべく、両者協働のもと、産産学学連携を視野に新産学協働研究拠点を角間キャンパス内に建設することとなりました。本拠点では、フラインセルロースの研究やセルロース常温溶解法による製造技術の開発を強力に推進し、社会実装を目指します。企業から資金提供をうける民間資金活用（PFI事業を除く）での施設整備は、本学では初の事例であり国立大学では最大級の規模です。

つきましては、下記のとおり安全祈願祭および共同会見を行いますので、当日の取材・報道をお願いいたします。

記

【金沢大学新産学協働研究拠点 新営工事安全祈願祭および共同会見】

日 時：令和3年7月6日（火）

安全祈願祭 11:00～11:45

共同会見 12:00～12:45

場 所：金沢大学角間キャンパス 自然科学研究科構内（金沢市角間町）
（受付場所：自然科学3号館玄関ロビー）

<取材に関してのお願い>

- ① 取材者は、10:30から11:00までに受付を行ってください。
- ② 取材時は、検温の上、マスクを着用ください。また、取材記者・同行者数も最少人数となるように配慮をお願いいたします。

本件お問い合わせ先

【金沢大学】

（新営工事安全祈願祭に関すること） 施設部施設管理課 西村 TEL：076-264-5137

（産学連携研究拠点に関すること） 研究・社会共創推進部産学連携推進課 坂井 TEL：076-264-5960

（取材に関すること） 総務部広報室 奥野 TEL：076-264-5024

【ダイセル】

（取材に関すること） IR・広報室 乾 TEL：03-6711-8121

<主な参列予定者>

金沢大学

学長 山崎 光悦

理事（研究・社会共創担当）・副学長 和田 隆志，ほか

株式会社ダイセル

代表取締役社長 小河 義美

取締役常務執行役員 高部 昭久，ほか

<地図>



令和3年7月6日

新産学協働研究拠点の安全祈願祭・共同会見について

【安全祈願祭】

- 日時 令和3年7月6日（火）
時間 11:00～11:45
会場 石川県金沢市角間町 金沢大学角間Ⅱ団地構内 安全祈願祭会場（テント内）
建築主 国立大学法人金沢大学
設計者 株式会社内藤建築事務所
施工者 清水建設株式会社（建築工事）
神事次第（抜粋）
- ・ 祝詞奏上
 - ・ 切麻散米
 - ・ カリゾメ 苜初之儀（齋鎌） *施工者
 - ・ ウガチゾメ 穿初之儀（齋鋤） 国立大学法人金沢大学 学長 やまざき こうえつ 山崎 光悦
株式会社ダイセル 代表取締役社長 おがわ よしみ 小河 義美
 - ・ 穿初之儀（齋鋤） *設計者
 - ・ 玉串奉奠

【共同会見】

- 時間 12:00～12:45
会場 安全祈願祭会場隣接テント内
次第
- ・ 金沢大学学長あいさつ
 - ・ ダイセル代表取締役社長あいさつ
 - ・ 質疑応答（終了後、適宜、個別取材に対応いたします。）

【注意事項】

- 安全祈願祭の際は、テント内正面の注連縄より奥に立ち入らないようお願いします。
- 共同会見中の質疑応答は、まずは現地記者団向け、続いてリモート参加記者団向けと順番に分けて対応します。
- 建築パース（リーフレット掲載）の画像データ（JPGデータ）の提供をご希望の場合は、金沢大学広報室メール（koho@adm.kanazawa-u.ac.jp）宛にて依頼ください。

本件お問い合わせ先

【金沢大学】

（新営工事安全祈願祭に関すること）施設部施設企画課 西村 TEL:076-264-5137

（産学連携研究拠点に関すること）研究・社会共創推進部産学連携推進課 坂井 TEL:076-264-5960

（取材に関すること） 総務部広報室 奥野 TEL:076-264-5024

【ダイセル】（取材に関すること） IR・広報室 乾 TEL:03-6711-8121

金沢大学産学連携研究拠点施設

“SPEED & FLEXIBILITY” に研究する拠点

□ 金沢大学 角間キャンパスマップ



令和3年7月

外観イメージパース

建物概要

名称：産学連携研究拠点施設
 発注者：国立大学法人 金沢大学
 株式会社ダイセル
 用途：大学
 構造：鉄骨造、
 柱 コンクリート充填鋼管造(CFT造)
 階数：地上7階建て
 建築面積：1,462.59㎡
 延床面積：7,696.72㎡
 主な仕上：
 外部：屋根防水…アスファルト防水
 外壁…有孔折板、二丁掛タイル、
 押出成形セメント板の上塗装
 外部建具…アルミニウム製、スチール製
 内部：

電気設備：照明設備、電力設備、受変電設備
 情報通信設備(電話、拡声、LAN)
 防災設備(自火報、防排煙、雷保護)
 防犯設備(監視カメラ、入退室管理)
 集中検針設備(電力、ガス、水道)
 映像音響設備、中央監視設備
 機械設備：給水設備、排水設備(生活、実験、雨水)、
 ガス設備(一般、特殊)、換気設備、
 空調設備(個別式)、
 設計：国立大学法人 金沢大学 施設部
 株式会社内藤建築事務所
 施工：建築 清水建設株式会社
 電気設備 北陸電気工事株式会社
 機械設備 北陸電気工事株式会社

	床	壁	天井
ステップホール	ビニル床シート張り	ケイ酸カルシウム板+化粧塩ビシート張り	ロックウール化粧吸音板張り
実験・研究ラボ	耐薬品性ビニル床シート張り	塗装塗り	直天井

建物の特色

新しい価値の創出とその社会の実装を迅速に進めるため、ニーズに合わせたフレキシブルな研究環境を整備するとともに、異分野融合による交流・研究を促進する環境を提供します。

■ステップホール

大きく吹き抜けた階段状の「ステップホール」は、学内外に開かれた環境として、本建物のシンボリックな空間として整備します。ひとつの空間でありながら、階段状にエリアを緩やかに仕切り、ほどよい距離感を保つことにより、小規模なミーティングから、大規模な講演会やセミナーまで利用可能なスペースです。利用者間の交流の促進やナレッジマネジメントにより、産学連携の強化及びオープンイノベーションの創出が可能となります。



■SDGsを踏まえた環境配慮

地球にやさしい先端的サスティナブルの構築や、自然との調和を図るため、ペアガラス、ルーバー、LED照明、高効率機器、トッピング変圧器等の環境アイテムを整備します。

■金沢大学の歴史と先進性をまとうデザイン

隣接する既存建物のデザインを継承するとともに、金沢城の石垣や第四高等学校校舎のレンガをモチーフとして、有孔折板やタイルを外壁に使用し、伝統の継承と先進性を感じさせるデザインとして整備します。



平面計画

■イノベーションを創発する空間の形成

イノベーションを生み出す空間づくりとして、低層階中央にステップホール、高層階に実験・研究スペースをつなげるコミュニケーションポイドといった吹抜け空間を中心に配置計画された諸室を設け、オープンイノベーションスペースを整備します。

■明確なゾーニングと段階的なセキュリティ計画

フロア構成及びゾーニングによる段階的なセキュリティや、セキュリティゲート(電気錠)を設置することにより、入居者・利用者の実験研究成果を保護します。

■エントランスホール

ガラスや金属などの無機質な素材で仕上げることで、既存建物とは一線を画すとともに、先進的な空間を提供します。



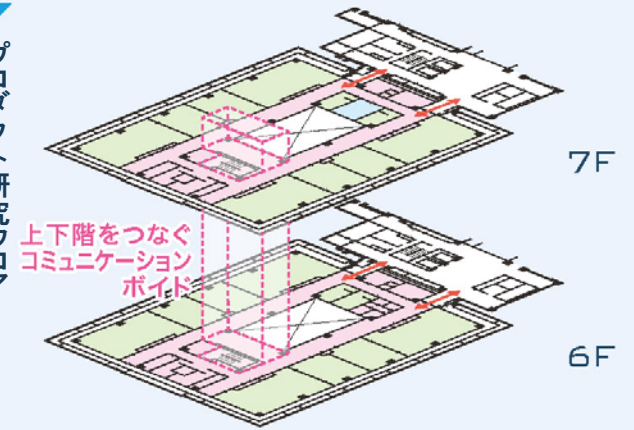
■フレキシブルラボ

実験とシミュレーション解析を並行して行う実験室と多目的室を1ユニットとして整備します。あらゆる実験研究に対し、自由なレイアウトや機器の配置が可能であるとともに、複数の種類の天井高さや積載荷重を備えている実験室です。

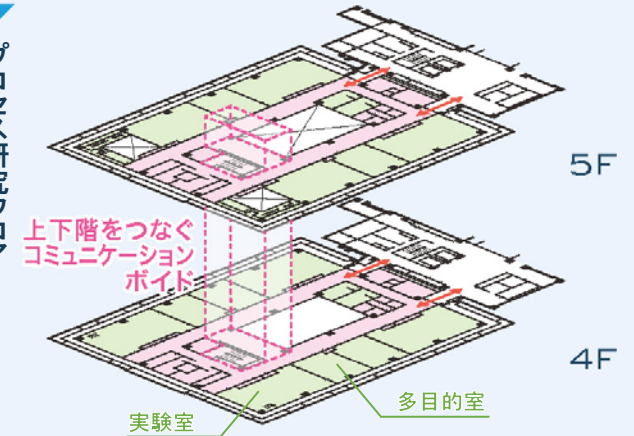


フロア構成

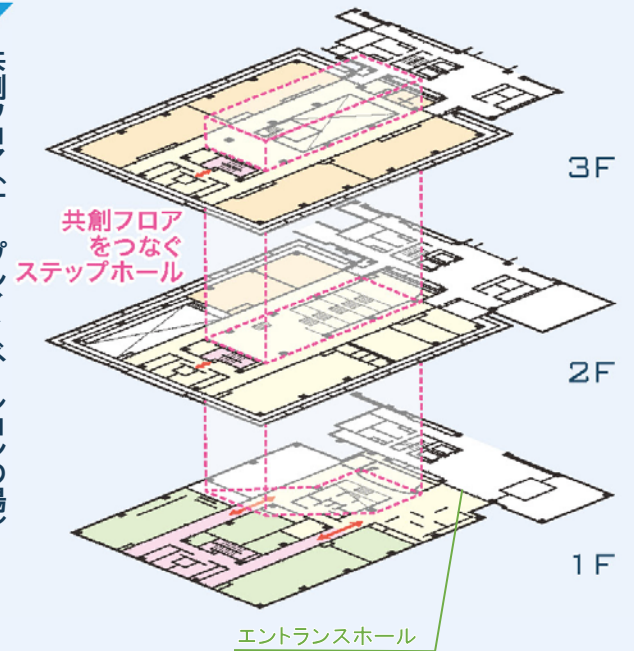
プロダクト研究フロア



プロセス研究フロア



共創フロア(オープンイノベーションの場)



セキュリティ凡例

レベル1:共創スペース	レベル2:実験室	レベル3:共用部
レベル4:実験室	レベル5:サーバ	セキュリティゲート